

常連さんの横顔

Fさん(70代女性)

「ここは私の本棚
いくらでも読めるなんて夢みたいです」



「景色を見ながらの読書タイム、気に入っています。最初はどんな所かよくわからなくて、おっかなびっくり入ったの」と教えてくれた常連さんのFさん。

「ガラス窓から緑が見えるのがステキ。ここで読むと、きちんと姿勢よく読めるのがいいですね」と、週に2~3回来てくれます。

自宅はここから一キロほどで在住20年。障害者作業所、保育園(障害児担当)に勤務しながら3人の子供を育てあげ、お姑さんを看取り、今はご主人と二人暮らし。

共通の趣味は走ること

「走り始めて20年かな。まず私が50歳のときに走ることに目覚めて仕事をやめちゃったんです」。そんな奥さんを見ていて「楽しそうにやっているな」と、なんとご主人も定年前に退職！

「主人は背が高く私はいさいから、よくチッチとサリーみたいって言われていたの」チーム・チッチとサリーとして、日本全国の大会に参加。「そのおかげで日本中に友達ができました」最近、歴史の名所を見ながらウォーキングを楽しんでいるそうです。

「今は、まちライブラリーへ来ることが歩く目的になっています。近くにこんな素晴らしいライブラリーがあるなんて夢みたい」。

かつては年間100冊は読んでいたというFさん、実は本を全部、処分してしまったと言います。いわゆる断捨離。「うちの本棚は空っぽ。せっかく処分したから増やしたくない。そんなときにここに出会ったの。すごいタイミング！」
読書熱が再燃したのです。

「ここは自分の本棚みたい。今まで読まなかったジャンルの本に出会えるのも楽しいです」とニッコリ。

現在、蔵書は6000冊以上。「どんどん増えているからいくらでも読める！」
Fさんとまちライブラリーのお付き合い、長くなりそう。嬉しい限りです。

好きな作家&おすすめ本

原田マハ、東野圭吾/最近葉室麟がお気に入り、おすすめは「津軽双花」。明智光秀時代、あの時代の人の事を知って、大河ドラマを見るのがより面白くなりました。女性の立場というのも興味深いです。